

〔堆肥施設の紹介コーナー〕

地域に密着したたい肥づくり

～（有）アグリスポット岡山～

美作県民局畜産第1班

勝央町内で環境にやさしい土壌づくりを推進するために、堆肥センターが平成7年に設置されました。この堆肥センターを管理運営しているのが、（有）アグリスポット岡山です。

・たい肥成分（乾物あたり）
窒素1.5% リン酸1.4% 加里2.3%
C/N比34

（有）アグリスポット岡山の概要

1 組織の構成

勝央町、勝英農業協同組合、町内の酪農家

2 たい肥の生産

酪農家：排せつ物を搬入

一次処理施設：町内4地区の処理施設（植月、吉野、勝間田、高取地区）
水分調整、乾燥などを行う。

二次処理施設：メインセンター

切り返しによる堆積発酵を行う。



出荷、販売

3 たい肥の紹介

- ・たい肥の名称
アグリスポットバイオ堆肥
- ・たい肥料金



バラ	町内	5,250円/2t車	配達を含む
		1,500円/軽四	引取りのみ
	町外	8,400円/2t車	配達を含む
		2,100円/軽四	引取りのみ
袋		270円/40L(約13kg)	
散布料		3,150円/2t車	町内のみ

（有）アグリスポット岡山ここをチェック！！

Point1

切り返しによる堆積発酵させた均一で良質なたい肥です。発酵温度、切り返し状態のチェックはバッチリです。写真のとおり！



製造に携わっている人の思いが感じられます。

Point2

牛ふんに、主にもみ殻を混合した良質なたい肥です。H19年度には、県たい肥共励会で最優秀賞を受賞！その品質は今も向上中・・・。

Point3

3年前からはアスパラガス専用たい肥も生産しています。まっすぐなアスパラガスを育てるために粒子の小さい、ふわふわたい肥が望まれるそうで、通常とは別工程で生産されています。

Point4

「数年使うと、土ができる。長く使っているとたい肥の良さがわかる」、「土づくりができ、収量も増えた。」という耕種農家の声、多数。問い合わせやお礼の手紙(関西方面からも)を頂くこともあり・・・。担当者として、やりがいを感じる時だそうです。

Point5

黒大豆や米を栽培している耕種農家約60人をはじめ、毎年、定期的に使用している人は、町内を中心に100人を超すそうです。また、（有）アグリスポット岡山では、このたい肥を使った町内産の農産物で、パン、黒大豆納豆、お餅、ジャム(イチゴ、白桃)を製造しています。地域に支えられ、地域を支えるたい肥だと感じました。